

みなさんの声 を生きが町政

町民参加のまちづくりを目指し、一人でも多くの皆さんの声をお聞きし、町政に反映させていこうと“広聴”事業に取り組んで2年あまりが過ぎました。

「町長への手紙」の広報折り込み、「町長の聞く耳ボックス」、「インターネット上の【目安箱】」の設置を行い、気軽に提案・意見をいただけるような環境づくりをしてきました。みなさんから寄せられた「声」と町長からの返信の一部を紹介します。

～福祉・保健～

声 支所に保健師、栄養士を常勤1人体制はできないか。(平成18年8月)

返信 保健師たちは、健康増進事業、疾病・介護予防事業、介護認定調査、障害程度区分認定調査などで町内を飛び回っています。支所に常駐させると、人数も少なくなつて事業推進に支障をきたすことになり、町民の方にご迷惑をかけることになり、まず、連絡をしていただければ、都合のつく限り出向かせていただきますので、気軽に申し付けてください。

声 BCGは名和だけでしか受けられないが、大山、中山でも受けられるようにしてほしい。(平成18年9月)

返信 BCGの予防接種は、現在の感染症法(旧結核予防法)では「生後3か月～6か月に達するまで(3～5か月児)に接種すること」と定められてい

ます。平成16年度までは、「4歳に達するまで」が対象だったため、合併前は年2回程度各旧町で実施していました。対象者が1人しかおられなくても、それぞれの場合で実施するとなれば、諸経費がかさむため、現状ではご要望に対応いたしかねます(例えば1人でも対象者があり旧町会場で実施した場合、ワクチン代・医師委託料・看護師委託料が必要となり、接種者が1人でも20人でも同じ経費が必

